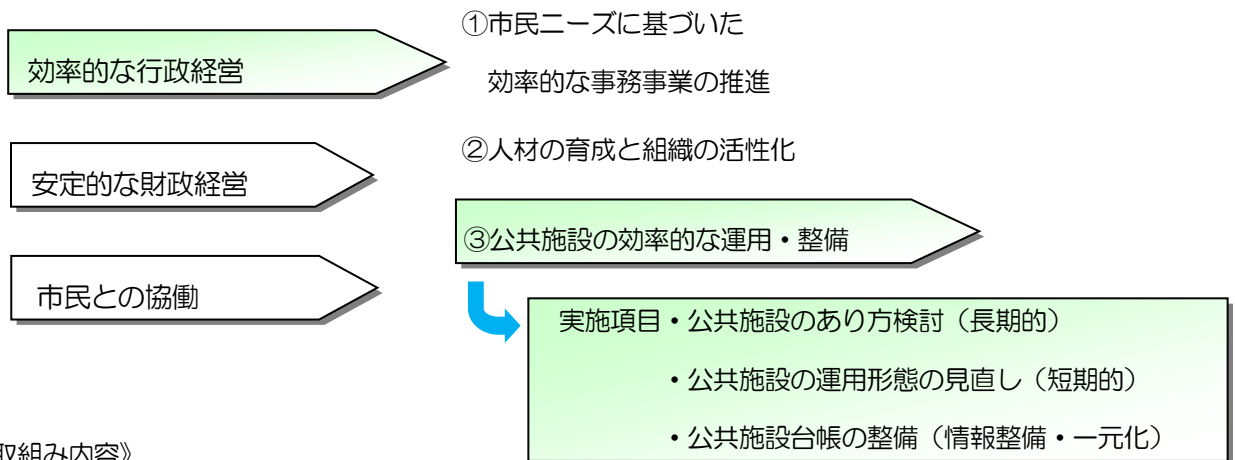


現在までの取り組み内容

1) 過去の取り組み（平成24年度まで）

第3次桑名市行政改革大綱（平成22年度～）



《取り組み内容》

- 「公共施設あり方検討ワーキンググループ（以下「WG」）」を平成22年度設立（H24まで15回）
- WGでは主に以下の取り組みを実施。
 - ・先進地視察 《三重県庁のオフィス改革》《名古屋市東区役所の窓口レイアウト変更》
 - ・研修会参加 《三重県FM研修会（秦野市、浜松市、佐倉市の事例）》
《その他研修会（習志野市、東京都の事例など）》
 - ・公共施設のあり方に関する基本方針の検討、策定 《桑名市FM推進方針（案）》
 - ・公共施設台帳のデータベース項目の検討 《公共施設台帳に必要なFMデータについて》

2) 平成25年度から現在までの取り組み

- 平成24～25年度に公共施設（ハコモノ）の構造や規模、建築年など基礎データをまとめた公有財産台帳を整備。（財産管理課）
- 平成25年度内にこれをもとに、公共施設を対象にした「公共施設マネジメント白書（平成25年度版）」を作成。（政策経営課）
- 平成26年6月に庁内「ワーキンググループ（係長級、13名）」を設立し、「公共施設白書（事務局案）」の内容を検討（4回程度会議）、8月に「桑名市公共施設白書」を公表。
- 9月に「桑名市公共施設等総合管理計画策定業務委託」を契約（公共ファイナンス研究所・エイト日本技術開発共同企業体）、平成26年度内に計画策定を行う。
- 具体的には、ハコモノ、インフラ基礎データを収集・分析し、基本方針（全庁的な取り組み体制、今後の管理の考え方、PPP・PFIなど活用提案、削減目標）の整理や、職員研修、有識者による検討会議を開催する。